

○ 中学校社会 第1学年 ②

「古代までの日本」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関 意 態	思 判 表	知 技 理
(1)	律令国家のしくみや税制、遷都などについての基礎的・基本的な理解状況を見る問題である。既習の知識をもとに、誤っている記載事項を見出す力が必要である。	歴史的分野ー内容(2)古代までの日本について、内容(1)ウに示されている「時代を大観し表現させる活動」として構成した活用問題である。 古代についての学習内容をふまえ、「(つまり)この時代は～時代である」というように、各時代の特色を大きくとらえる力が必要である。 古代における政治・社会、文化、外国とのつながり、といった3つの観点について、既習の知識をもとに時代の特色を自分の言葉で表現する力を見る問題である。			◎
(2)	平安時代において藤原氏の行った摂関政治についての基本的・基本的な知識を問う問題である。				◎
(3)	古代の文化や政治における仏教の影響の大きさについての理解を踏まえ、それがこの時代の特色の1つであると判断して自分の言葉で表現する力を見る問題である。			◎	○
(4) (5)	古代における日本と東アジアの結び付きの深さについての理解を踏まえ、それがこの時代の特色の1つであると判断し、その具体的内容などについて、自分の言葉で適切に表現できる力を見る問題である。			◎	○